

# 外国人雇用状況の届出状況について (平成 25 年 10 月末現在)

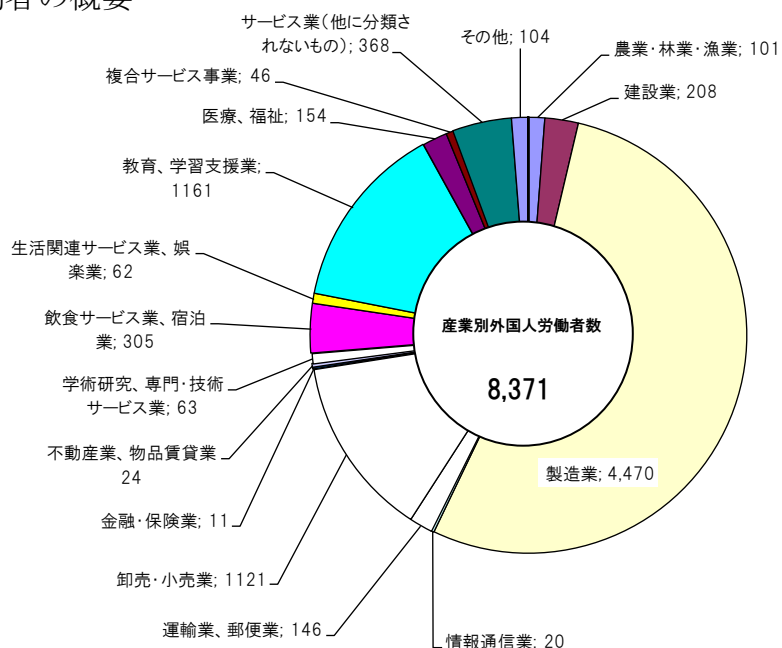
岡山労働局

## 1 届出を行った事業所及び外国人労働者の概要

### (1) 総数

届出を行った事業所は全体で 1,398 事業所、外国人労働者数は 8,371 人であった。

平成 24 年 10 月末日現在の結果報告（全事業所数 1,346 事業所、外国人労働者数 7,939 人）と比べると、事業所数は 52 事業所（3.9%増）増加し、外国人労働者数は 432 人（5.4%増）増加した。



### (2) 産業分類別

事業所数では「製造業」が最も多く 659 事業所（構成比 47.1%）、次いで「卸売・小売業」が 176 事業所（構成比 12.6%）、「宿泊業・飲食サービス業」が 103 事業所（構成比 7.4%）であり、この 3 産業で全数の 7 割近くを占めている。

外国人労働者数では、「製造業」が最も多く 4,470 人（構成比 53.4%）、次いで「教育・学習支援業」が 1,161 人（構成比 13.9%）「卸売・小売業」が 1,121 人（構成比 13.4%）であり、この 3 産業で全数の 8 割を占めている。

### (3) 事業所規模別

「30 人未満」規模が 698 事業所（構成比 49.9%）、「30～99 人」規模が 346 事業所（構成比 24.7%）、「100～499 人」規模が 222 事業所（構成比 15.9%）と、全事業所の 9 割を占めている。

### (4) 主として労働者派遣・請負業を行っている事業所

届出を行った事業所は 103 事業所（構成比 7.4%）であり、外国人労働者数は 788 人（構成比 9.4%）であった。

産業分類別では、事業所数、外国人労働者数ともに「製造業」、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」が多く、合わせて 65 事業所及び 533 人である。

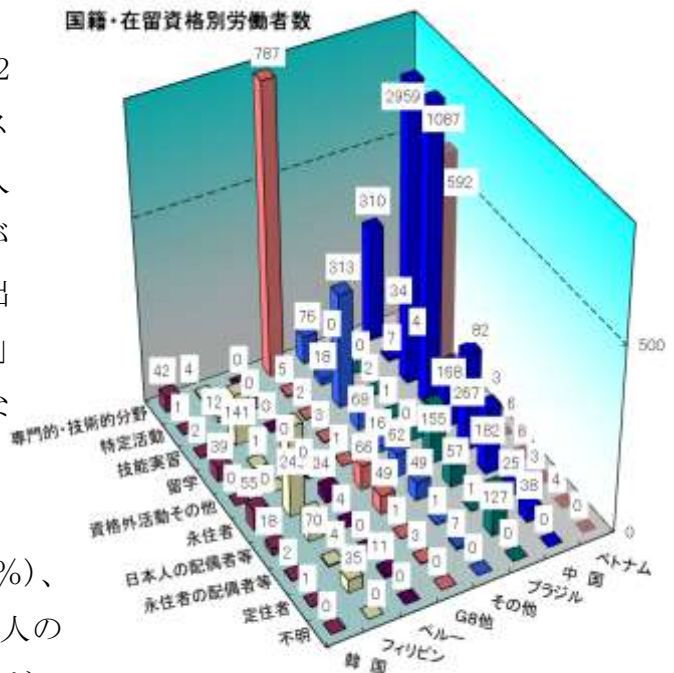
## 2 届出を行った外国人労働者の属性

### (1) 出身地域別

「中国」出身者が5,043人(構成比60.2%)と最も多く、次いで「G8+オーストラリア+ニュージーランド」が917人(構成比11.0%)、「ベトナム」出身者が736人(構成比8.8%)、「フィリピン」出身者が513人(構成比6.1%)、「ブラジル」出身者が343人(構成比4.1%)の順となっている。

### (2) 在留資格別

「技能実習」が4,011人(構成比47.9%)、「身分に基づく在留資格(永住者、日本人の配偶者等、定住者、永住者の配偶者等)」が1,591人(構成比19.0%)、「留学」の在留資格が1,281人(構成比15.3%)、「専門的・技術的」在留資格が1,253人(構成比15.0%)となっている。



## 3 岡山局の特徴

### (1) 外国人労働者

#### ① 出身地

中国出身が60.2%と、全国値42.4%に比べ高い。

#### ② 主に派遣・請負業を行う事業所での労働者

788人(構成比9.4%)と、全国値23.7%に比べ低い。

#### ③ 在留資格

「技能実習」の構成比が47.9%と、全国値19.0%の2.5倍以上である一方、「身分に基づく在留資格」が19.0%と、全国値44.4%の半分以下の割合となっている。

### (2) 届出事業所

「30人未満」規模事業所における事業所数が698社(49.9%)と最も多く、次いで「30~99人未満」規模事業所数が346社(24.7%)と、全事業所の7割以上を占めている。